

## 2019年度 第127回ミニ企画展示

## 第13回立命館附属校平和教育実践展示 開催報告

概要：立命館大学国際平和ミュージアムで立命館附属校(小学校・中学校・高等学校)が平和教育における取り組みを紹介する。2007年度に第1回を開催し、今回で12回目の実施。

今年のテーマは「私たちが目指す世界：立命館のSDGs」

展示期間：2019年10月7日(月)～2019年12月13日(金) 53日間

期間中のミュージアム来館者総数：15,516人

(10/10 立命館慶祥中 200名、11/11 立命館小学校 118名)

アンケート回収枚数：28枚

《参考》 2018年度第119回ミニ企画展示 第12回立命館附属校平和教育実践展示

展示期間：2018年10月7日(日)～2018年12月16日(日) 55日間

期間中のミュージアム来館者総数：17,397人 アンケート回収枚数：35枚

## 展示スケジュール・展示概要

学校名・会期	展示趣旨・展示内容
立命館慶祥中学校・高等学校 10/7(月)～10/18(金)	<p>今の世の中は「戦後」と呼ばれますが、戦争は足音を立てずに忍び寄ってきます。音もなく忍び寄ってくる戦争の気配を感じ取る感覚が必要です。立命館慶祥中学校・高等学校では、「戦争とは何か」を丁寧に学び、平和な社会を持続していくために貢献できる人材を育てたいと思っています。</p> <p>北海道で学ぶ子どもたちは、自分の身近なところにある戦争について考える取り組みを行うようにしています。自分の地元や、夏休み中に訪問したゆかりの地について調べることで、戦争が「自分事」になっていきます。</p> <p>今回は中学2年生が夏季課題：テーマ「身近なところにある戦争」(①身近な人と戦争、②身近な地域と戦争、③身近なモノと戦争)として、調べたことをポスターにまとめました。</p>
立命館中学校・高等学校 10/21(月)～11/1(金)	<p>立命館中学校では、毎年文化祭で平和にかかわる作品の制作を行っています。高校では「Sustainable Students 17 Possible Action(高校生にできる17の行動目標)」を完成させ、「キャンパスSDGs at NKC(長岡京キャンパス)」を展開しています。また、中学2年生の冬季に実施する沖縄平和研修の事前平和学習を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭中学校全体企画～平和の灯～ 平和や災害復興支援への思いを込めた「和紙によるランプシェイド」の作成(和紙は東北震災被害地域のもの)</li> <li>・中学1年生の平和のイメージを抽象表現した美術の授業作品</li> <li>・中学2年生が沖縄平和研修に向けた夏休みの事前課題</li> <li>・中学校美術部が沖縄平和研修を経て合作制作した絵画作品</li> </ul>

<p style="text-align: center;"><b>立命館小学校</b></p> <p style="text-align: center;">11/3(日)～11/15(金)</p>	<p>立命館小学校 5 年生は、6 月に宿泊体験学習として尾道・広島を訪問しました。その事前学習をもとに、「私の中の平和」をポスターの形で表現しました。さまざまな平和の形を交流することで、改めて私たちの平和な生活の実現に向けて、自分たちには何ができるのかを考える機会としたいと思います。</p>
<p style="text-align: center;"><b>立命館宇治中学校・高等学校</b></p> <p style="text-align: center;">11/18(月)～11/29(金)</p>	<p>立命館宇治中学校・高等学校の平和教育は、SDGs を以前から大事にしています。かつ、立命館宇治校社会科では、国内外の戦争・紛争・平和をめぐる諸問題を取り上げてきました。引き続き、今年も平和にむけての取り組みを展示いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「東アジア青少年歴史体験キャンプ」は、日韓中の高校生が毎年各国を回りながら、平和について討議、学習、フィールドワークをしています。青少年の歴史認識を深める学びと交流の積み重ねこそが、東アジアの平和と友好の歴史を切り拓く力になることを実感しました。</li> <li>・恒例の「憲法平和集会」は、立命館大学の君島東彦教授による沖縄問題の講演を聴き、クラスで沖縄の基地問題について、憲法条文も引きながら話し合いました。</li> <li>・中学3年生の「歴史新聞」は、例年夏休みに取り組んでいる「平和」をテーマとした新聞づくりです。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>立命館守山中学校・高等学校</b></p> <p style="text-align: center;">12/2(月)～12/13(金)</p>	<p>立命館守山中学校・高等学校は、ユネスコスクールに加盟し、「国際社会の平和的、民主的発展に貢献できる人を育てる」ことを掲げています。「SDGs で“つなぐ” キャリア教育」をコンセプトに、ESD(持続可能な開発のための教育)の観点から、教育のあらゆる場面でSDGs との関連性を意識することを目標に活動しています。そうしたSDGs に関連した取り組み、並びに平和学習の取り組みを広く紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「立命館守山の SDGs－持続可能な社会づくりへの挑戦」SDGs の 17 の目標を目指した取り組みを紹介します</li> <li>・中学2年生 美術科「平和ポスター」展示 約 160 点</li> <li>・中学2年生 総合学習「沖縄平和研修」(2020 年 1 月)事前発表資料 約 150 点</li> <li>・2018 年立命館高校で開催された国際フォーラム RSGF(Rits Super Global Forum)のセッションで発表したポスターを展示</li> </ul>

## 第 13 回立命館附属校平和学習実践展 会場風景

### ◆ 立命館慶祥中学校・高等学校

中学 2 年生夏季課題: テーマ「身近なところにある戦争」(①身近な人と戦争、②身近な地域と戦争、③身近なモノと戦争)調べたことをまとめたポスター



### ◆ 立命館中学校・高等学校



- ・文化祭中学校全体企画～平和の灯～  
平和や災害復興支援への思いを込めた「和紙によるランプシェイド」の作成 (和紙は東北震災被害地域のもの)
- ・中 2 沖縄平和研修に向けた夏休みの事前課題
- ・中 1 美術 平和のイメージを抽象表現した作品
- ・中学校美術部が沖縄平和研修を経て合作制作した絵画作品



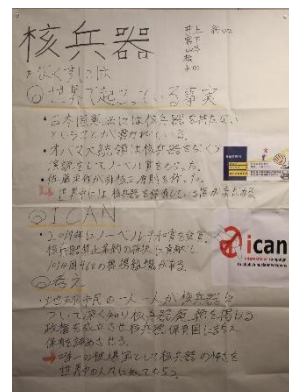
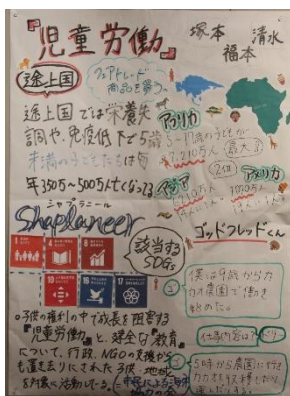
◆ 立命館小学校

- ・ 5年生児童 121人による平和ポスター作品「私の中の平和」
- ・ 尾道・広島への宿泊体験学習に向けた事前・事後学習の様子



◆ 立命館宇治中学校・高等学校

- ・ 「東アジア青少年歴史体験キャンプ」参加報告ポスター
- ・ 「憲法平和集会」開催報告ポスター
- ・ 中学3年生の「歴史新聞」



◆ 立命館守山中学校・高等学校

- ・ 中学2年生 美術科「平和ポスター」展示
- ・ 中学2年生 総合学習「沖縄平和研修」(2020年1月)事前発表資料
- ・ 2018年立命館高校で開催された国際フォーラム RSGF(Rits Super Global Forum)のセッションで発表したポスター



第 127 回ミニ企画展示

「第 13 回立命館附属校平和教育実践展示」アンケート集計結果

会期：2019 年 10 月 7 日（月）～12 月 13 日（金） 53 日間 アンケート回収枚数：28 枚

知ったきっかけ		住まい	年齢	職業
来館して知った	6	京都 7 滋賀 3 大阪 2 兵庫 2 奈良 2 三重 2 北海道、埼玉、 アメリカ 1	10 代 9 30 代 1 40 代 3 50 代 1 60 代 1 70 代以上 3	小学生 5 中学生 3 職員 2 会社員、大学図書館、 職員、教員 1 アルバイト 2
ミュージアム HP	2			
社会見学・修学旅行	5			
人に聞いた	2			
立守中 HP	1			
学校からのお知らせ	1			
その他	4			

展示に関する意見・感想

- 慶祥** 1) 平和ミュージアムガイド 7 年目です。北海道に関しては全く縁がなく、北海道における戦争についてリアルに知るきっかけとなり、貴重な作品です。大人と違って中・高生の感覚が生かされとても新鮮でした。 (京都府 70 代以上 アルバイト)
- 慶祥** 2) 一年に何度か立命館中高生の戦争に関する感想、伝聞、過去の遺品などを展示してくれているが、もし学校が例年の学習企画としてこれを織り込まなければ、出品した学生はもとより立命館在学の学生も家族も、過去の日本が戦争をした国であり、多くの加害、被害のあったことを知らぬままに成人してしまうだろうと考えると、学生・生徒・教師が立命館ならではの教育を経験した、受けたこととなり、貴重な学風といえると思う。ありがとう。 (京都府 70 代以上)
- 慶祥** 3) 中学生の平和学習、地域を題材にすばらしい取り組みです。毎年楽しみにしています。どの学校の展示かもう少し大きくめだつようをお願いしたいです。今回展示の学校の企画・展示内容も、中に大きく展示していただくと全体を見学するときにはわかりやすいです。 (京都府)
- 長岡京** 4) 沖縄についての調べ学習の発表は、多方面で様々な事を学べる良い教材にもなりますね。抽象画は量に圧倒されます。 (京都府 50 代 立命館職員)
- 小学校** 5) どの作品も心温まる優しさが伝わってきました。 (大阪府 40 代)
- 小学校** 6) 子供さん独特の色使いが素晴らしかった。また、幸福・平和のメッセージがリアルに表現されてた。 (京都府 70 代以上 アルバイト)
- 小学校** 7) とてもすばらしい展示が多く、涙が出そうになりました。この活動を続けていけば、戦争について知る人が多くなるのでがんばって行ってください。 (北海道 30 代 無職)

**宇治** 8) 中高生が実際に広島やチェコで体験したことや自分たちで考えたことがまとめられていて、将来にわたって平和を築くための歩みを続けていってほしいと思いました。私もいろんなペースですが続けています。  
(埼玉県 40代 教員)

**宇治** 9) 皆さんの活動、学習、思考力、まとめる力はすばらしいです。しれらうい visualization 可視化、他の人に伝える、他の人にわかってもらえるように伝え、協力する人、協力しあえる人をつくりだしていく、新しい方法を作り出していくことにつなげていってほしいです。また、プラスチック問題のところでは、どこにも「自分がすること」「自分は何をするか」コメントがなく、抽象的だと感じました。日本には多くの自動販売機があり、どんどんプラスチックのお茶の容器が消費、すてられていっています。アメリカではペットボトルの再利用で使用したペットボトルにまたお水を入れてそれを持ち歩いて使っています。そういうことのできる給水機も学校、オフィス、空港にあります。今の気候危機を考えるともう待たないのころまでできています。この世界に生き続ける若い皆さん本当にたいへんでもがんばりましょうね。一人ひとりが少しでもプラスチック容器を使いすてせずに使い続けて全体数を減らしていくこともできるでしょう。海は一滴の水のあつまりですね。ありがとう。  
(アメリカ 60代 大学図書館職員)

**守山** 10) 立命館守山中学校の美術部のみなさんがパキスタンの方々と平和への想いを込めて合作された絵がとても心に響きました。異なる国で生まれ育ったとしても、同じ人間として世界の平和、友人の平和、家族の平和、自己の平和 etc. を願う気持ちは変わらないものなんだと実感された事と思います。この作品を拝見させていただき、そういう思いがとても伝わって参りました。私自身も、日々の生活の中でその想いを大切に生きていかなければいけない、日々こうして生きていられる事を“あたりまえ”だと思ふことのないように、人とのつながりやご縁に感謝して生きていかなければならないと改めて思いました。美術部のみなさん、パキスタンの学生のみなさん、素敵な作品を有り難うございました。大切に心に刻みます。勉強等、多忙な日が続くと思いますが、心と体の健康を大切にされ、また素敵な作品を拝見させて頂ける事を心待ちにしています。本日は有り難うございました。  
(滋賀県 40代 会社員)

**守山** 11) 各取り組みの紹介が非常にわかりやすく、写真と文字がバランス良くとても見やすい展示でした。多くの海外の留学生や生徒との学習の交流があることも魅力に感じました。青がとてもインパクトの強いもので、平和のブルースカイをもイメージでき展示でした。  
(京都府 立命館職員)